

団体名	公益財団法人 大阪府国際交流財団						
事業名	国際理解教育外国人サポーター派遣事業 ～多文化共生を考える人材作りを目指して～						
実施期間	2021年5月1日～2022年1月31日						
場 所	大阪府内の各学校(小学校、中学校、高校、支援学校)、マイドームおおさか、立命館大学						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	54	57	4203	404	2	94	4814名

<実施内容>

留学生や外国人住民の方々を外国人サポーターとして登録し、大阪府内の小・中・高等・支援学校が行う国際理解教育の授業に派遣しています。派遣先の学校で、出身国の文化や歴史の紹介、民族舞踊や楽器演奏、遊びなどを通じて、サポーターと児童・生徒がお互いに交流し、異文化理解を深め、多文化共生について自分で考える人材を育むことを目的としています。

今年度は新型コロナの影響もあり、例年よりも訪問できた学校の数が減少しましたが、先生方や生徒、サポーターの協力により、ソーシャルディスタンスやマスク着用を徹底し、楽しく授業ができました。Zoomなどオンライン授業や映像教材を貸出すなど、現地訪問以外の授業も提供しました。こういった遠隔授業の体制も構築していくことで、物理的な距離を超えた、いろいろな形の授業づくりを今後もめざしていきます。

<記録写真>



小学生とアメリカの遊びを体験



高校生に留学生が自分の研究を含め、国際理解教育を紹介



Zoomを通して、母国からオンライン授業

<参加者からのコメント>

Bさん(ベトナム)/Ms.B(Vietnam)

こんにちは。ベトナムからの留学生です。はじめてこのプログラムを知って、とても嬉しかったです。なぜなら、自分は異文化交流や国の紹介などに興味があります。このプログラムに参加してから、様々な勉強になったことは増えてきています。日本の中学に行くチャンスも得ますし、他国の人とのコミュニケーションもできますから、本当にいいと思います。早くコロナがおさめるように願います。

Kさん(韓国)/Ms.K(Korea)

自分が住んでいる地域ではないところに授業で行くことによってより広く、日本の方との交流ができることに喜びを感じております。他の地域にはなかなか行く事もないし、関りがないので私にとっては貴重な時間です。偏見や先入観で異国の人や国をジャッジする、目に見えない壁を少しでもなくせる事業だと思っております。感謝しています。